

別記様式（第6条関係）

会 議 録

会議の名称	第10回田原市・渥美町合併協議会		
開催日時	平成17年3月28日（月） 13時29分開会 ・ 14時25分閉会		
開催場所	田原市役所 第1委員会室		
議長氏名	田原市長 白井 孝市		
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり		
欠席者氏名	山本貴正 委員、戸田敏行 顧問		
会議事項	1 議 題 会議録署名委員の指名について  (確認事項) ・平成17年田原市・渥美町合併協議会事業計画(案)について ・平成17年度田原市・渥美町合併協議会予算(案)について  (その他) ・合併(廃置分合)の県議会議決及び県知事による同処分の決定・告示について ・平成17年度当初予算の概要について	2 会議結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案どおり確認</li> <li>・原案どおり確認</li> <li>・廃置分合の申請後の経過と今後のスケジュールを報告。</li> <li>・田原市及び渥美町のH17当初予算の概要を説明。</li> </ul>
	会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添のとおり 第10回田原市・渥美町合併協議会 会議次第 田原市・渥美町合併協議会 第10回会議資料【資料 1】 平成17年度田原市当初予算【資料 2】 平成17年度渥美町当初予算【資料 3】 平成17年度当初予算比較表(東三河5市)【資料 4】		
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		署 名 押 印	
平成 年 月 日		署名委員  印  印	

**田原市・渥美町合併協議会委員等名簿  
(出欠簿)**

区 分	職 名 等	氏 名	出席	欠席
会 長	田原市長	しら い こう いち 白 井 孝 市		

区 分	職 名 等	氏 名	出席	欠席	
第 7 条第 1 項 第 1 号委員	渥美町長 (副会長)	はら こう いち 原 功 一			
第 7 条第 1 項 第 2 号委員	田原市議会議員	い よ だ のり やす 伊 与 田 知 養			
	渥美町議会議員	お がわ どう ご 小 川 藤 吾			
第 7 条第 1 項 第 3 号委員	田 原 市	自治会代表	こ ばやし しゅん じ 小 林 舜 治		
		青年代表	いわ きま ひとし 岩 崎 仁		
		女性代表	とみ だ さよ こ 富 田 さ よ 子		
		農業団体代表	おか もと まさる 岡 本 勝		
		商工団体代表	すず き よし はる 鈴 木 喜 玄		
		臨海企業代表	やま だ とし ろう 山 田 俊 郎		
	渥 美 町	自治会代表	やま もと たか まさ 山 本 貴 正		
		青年代表	き むら たか のり 木 村 孝 徳		
		女性代表	すぎ うら みさお 杉 浦 操		
		農業団体代表	い どう よし お 伊 藤 欣 夫		
	商工団体代表	わた らい かず あき 渡 會 一 昭			
計	(田原市 7 人・渥美町 7 人)	14 人			

区 分	職 名 等	氏 名	出席	欠席
第 11 条第 1 項 顧問	愛知大学名誉教授	か わい ひで とし 河 合 秀 敏		
	(社)東三河地域研究センター常務理事	と だ とし ゆき 戸 田 敏 行		
	愛知県東三河事務所長	なつ め やす たか 夏 目 安 孝		

## 第10回田原市・渥美町合併協議会会議録

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局長	<p>皆さん、こんにちは。 時間前でございますが、ただいまから第10回田原市・渥美町合併協議会を始めさせていただきます。 開会に当たりまして、会長からあいさつをいただきますので、よろしくお願いいたしますします。</p>
議長	<p>それでは、皆様、こんにちは。 年度末を控えまして、久しぶりの合併協議会ということで、本日、特に審議していただくのは新年度の予算等でございますので、今までのような合併協議会とは違いますが、大変ご多用の中、お集まりを賜りましてありがとうございます。 今お話のように、万博も始まりまして、いよいよ華やかな季節が来ておりますが、私どもの合併につきましては、10月まで今から半年ございます。この間、今、幹事会等を中心にいたしまして合併協議会でご協議賜りました方向に沿って最後の調整等をやっております。 こうした中で、これからもいろいろ協議のほうを進めさせてもらいますが、懸案等は特に大きなものはございませんが、いろいろ政治的な課題というのが、ちょうど今のこちらの状況の中で、まだ一つ、二つ、出てくるのかなというようなことは想像しております。 そうした状況でございますが、今日は、とりあえず現状の状況と各両市町の予算等も決まりましたものですから、そうしたことのご報告を中心に会議を開かせていただきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。</p>
事務局長	<p>ありがとうございました。 それでは、本日の議事に入ってまいりたいと思っておりますが、その前に、今年に入りまして交代されました委員さんをご紹介させていただきます。 去る1月1日付で、田原青年会議所の理事長が河合伸久さんから岩崎 仁さんに、同じ日付でございますが、渥美青年経済研究会の理事長さんも、宮田直行さんから木村孝徳さんに交代されました。また、2月3日には田原市の議会の役員改選が行われまして、議会議長が関 保則さんから伊与田知養さんに交代されましたので、それぞれ交代の日付で協議会委員を委嘱させていただいております。 なお、委嘱状につきましては、事前に配付させていただきました。新しい委員の方々、よろしくお願いいたします。 それでは、これから以後の議事のとり回しにつきましては、会長にお願い申し上げます。</p>
議長	<p>それでは、早速でございますが、ただいまから議事のほうに入らせていただきたいと思っております。 なお、本日は、渥美町の山本委員さん、顧問の戸田さんがご都合でご欠席されておりますのでご報告をさせていただきます。 それでは、協議に入ります前に、ただいま新しく委員さんになられた方のご紹介がございましたので、一言ずつごあいさつをお願いしたいと思います。</p>

	<p>まず最初に、伊与田さんからどうぞ。</p>
伊与田委員	<p>合併協議会は初めての参加であります、10回目ということで、あと残り少ないということではありますが、後任として一生懸命努めてまいります。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>はい、お願いいたします。      それでは、岩崎さん、木村さんと続いて一言ずつ。</p>
岩崎委員	<p>皆さん、こんにちは。私は、2005年度社団法人田原青年会議所第35代理事長を仰せつかりました、岩崎 仁と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは木村さん、どうぞ。</p>
木村委員	<p>皆さん、こんにちは。渥美青年経済研究会、本年度理事長をやらせてもらっております、木村孝徳と申します。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。      それでは、先ほどちょっとごあいさつ申し上げましたが、協議事項そのものは終わっておりますが、また、情勢等の意見交換ということで、これから合併まで、また二、三度お寄りいただくことがあろうと思います。よろしくお願いいたします。      それでは、ただいまの出席委員は、13名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから第10回田原市・渥美町合併協議会を開催させていただきます。      審議に先立ちまして、会議録署名委員の指名をさせていただきます。      会議録署名委員に、富田さよ子委員さん、杉浦 操委員さんのご両名をお願いいたします。      それでは、議事に移らせていただきます。      協議第62号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会事業計画（案）」について及び協議第63号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会予算（案）」についてを一括議題といたします。      事務局、説明をしてください。</p>
事務局長	<p>それでは、ただいま一括議題となりました協議第62号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会事業計画（案）」及び協議第63号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会予算（案）」についてご説明申し上げます。      最初に、事業計画（案）についてご説明いたしたいと思いますので、資料1をお開き願いまして、資料 1の2ページをご覧くださいと思います。      本協議会でございますが、先ほども申し上げておりますように、協議事項はほぼ終了しておりますが、組織につきましては、10月1日の合併日の前日まで存続することとなります。平成17年度は、したがいまして、半年間の事業計画期間となりますが、この間、平成16年度の決算の承認を含めまして、二、三回協議会の開催を計画させていただいております。また、予算にもその分は上げさせていただいている状況でございます。      会議の開催内容といたしましては、決算承認の外、その事業計画（案）の2に掲</p>

げてございますが、これまで本協議会で基本方針を定めていただいた事務事業につきましては、先月から各分科会あるいは幹事会等で精力的に詰めを進めてまいっておりますので、協議会存続期間中にまとまりましたものにつきましては、随時報告してまいりたいと考えております。

そういったことが中心で、例えば、合併時の支所を含めまして、事務組織あるいは機構案ができましたらその段階、あるいは渥美町地域の校区総代制の導入と助成制度等がまとまってまいりましたらその段階、あるいは市民館の考え方、あるいはぐるりんバスの運行等について、それぞれ今、分科会、幹事会で協議を進めております。そういったものがまとまって、具体的な調整案等ができましたら随時報告してまいりたいと考えております。

なお、正規の協議会以外に臨時的な協議会や委員の皆さんの勉強会も随時開催してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、住民の皆さんへの協議会からの情報提供でございますが、本年度と同様に全世帯に配布の合併協議会だよりを始めといたしまして、ホームページあるいは会議録の閲覧等を行ってまいるほか、後ほどまた予算でも申し上げますが、合併後の暮らしのガイドブックなどPR用の印刷物を作成しまして世帯配布等を行ってまいりたいと考えております。

以上が、平成17年度の本協議会の事業計画の案とさせていただきます。

続きまして、協議第63号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会予算(案)」につきましてご説明申し上げます。資料は、3ページから4ページをお願いしたいと思っております。

平成17年度の本協議会の予算でございますが、これも10月までの執行期間となります。歳入歳出の予算総額でございますが、4ページをご覧いただきたいと思っておりますが、一番下、予算総額を歳入歳出それぞれ680万円と定めるものでございます。

それでは、その主な内容についてご説明してまいりたいと思っております。

最初に、4ページ表の右側に掲げてございます歳出からご説明させていただきます。

まず、1款1項1目の事務局費343万8,000円でございますが、8節報償費では、事務局職員、分科会委員等が先進地視察に出向いた際の土産代2万円を、また、9節旅費では、職員事務打ち合わせ等の出張旅費としての普通旅費11万6,000円と、また、先進地等の視察に伴います視察等特別旅費として7万円を計上させていただいております。

10節交際費の2万円でございますが、これは会長の交際費でございますが、主に冠婚葬祭等の必要経費を計上させていただいております。

また、11節の需用費では、事務用品等の購入費、管理事務経費を58万6,000円、また、12節役務費では、電話料あるいは郵便料等の所要額7万円を計上しております。

次に、13節委託料の10万円でございますが、協議会の議事録の作成費を計上させていただきました。

14節使用料及び賃借料の26万5,000円につきましては、パソコンリース料のほか、通行料あるいは駐車料金に係る経費を計上させていただいております。

19節負担金補助及び交付金では219万円計上させていただいておりますが、これは、事務局への派遣職員の時間外手当等でございますが、それぞれの市町の支出でなく、本協議会で負担金として予算計上をさせていただいております。

次に、2款1項の事業推進費、1目会議費の1節報酬でございますが、協議会委員及び顧問の方々の報酬でございますが、合計45万5,000円を計上させていただ

ております。

また、9節旅費の9,000円は、協議会を組織する区域外から参加していただいております顧問の方々への費用弁償でございます。

次に、2目の広報広聴費では、11節の需用費で合併協議の概要を記述した広報紙、合併協議会だより、あるいは暮らしのガイドブックなどPR用の印刷物の作成を計画しております、合計247万2,000円の印刷経費等を計上したものでございます。

また、13節の委託料では、合併協議会ホームページの更新委託費25万円を計上させていただきます。

以上、歳出合計は、予備費の7万6,000円を含めまして680万円となるものでございます。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

1款1項1目1節の構成市町負担金の180万円でございますが、田原市、渥美町からの負担金で、負担割合は平等割で、それぞれ90万円のご負担を願うものでございます。

その次、2款1項1目の繰越金でございますが、平成16年度の執行状況から499万9,000円を見込んでおります。やや金額が多くなってはおりますが、これは、前年度新市建設計画作成に当たってのコンサル委託料等を外注とせず、職員対応をしたため、執行残が出て繰り越し見込みが出たことなどが大きな要因となっております。

また、そのほか諸収入では1,000円の予算を計上させていただきました。

以上、歳入予算680万円ということでございます。

以上で平成17年度予算の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

議長

それでは、説明が終わりましたので、ご質問等がございましたらお出しいただきたいと思っております。

ご質疑ございませんか。

それでは、特にないようでございますので、1件ごとに採決を行わせていただきたいと思っております。

最初に、協議第62号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会事業計画」についてを原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長

ありがとうございます。ご異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり確認をされました。

続いて採決を行います。

協議第63号「平成17年度田原市・渥美町合併協議会予算」についてを原案どおり決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長

ありがとうございます。ご異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり確認をされました。

以上で確認事項は終えまして、次に、その他に移らせていただきたいと思っております。

事務局、何かありましたら報告をお願いいたします。

事務局長

それでは、事務局のほうから2点ほどお願いをいたします。

最初に、現在の合併の手続きの状況でございますが、合併、いわゆる廃置分合の県議会での議決が、去る3月18日に、田原市・渥美町の合併が県議会において議決されまして、3月22日付で愛知県知事によります廃置分合の処分、いわゆる合併の決定がされ告示が行われました。そして、3月24日には国への届出が行われたということをお伺いしておりますので、遅くとも5月の連休前には国の告示もなされるものと思います。

以上、国への合併の手続きの状況でございます。

それからもう1点、3月に入りまして、田原市、渥美町さんでそれぞれ予算が発表され、議会でも議決されておりますので、今回は資料をお配りいたしまして、主な概要につきまして私どものほうから説明させていただきたいと思っております。

予算関係の資料でございますが、お手元に配付いたしました資料2が田原市の平成17年度の予算の概要、資料3が渥美町さんの予算の概要でございます。そして、資料2、資料3もあるわけですが、最初に資料4をご覧いただきたいと思っております。これは、それぞれの予算規模を東三5市等で比較をし、その性格と申しますか、どんな特徴があるのかなということをお掲げした表でございます。

まず、田原市の17年度の予算規模でございますが、一般会計、特別会計、企業会計を合わせました予算総額が381億6,100万円ほどになっております。そのうち一般会計が、そこでございますように、251億1,000万円。一般会計では前年度比5.1%の減となっております。

これは後ほど申し上げますが、東三管内、豊橋だとか豊川さんも、いずれも前年度に比較して減となっております。大きいところで、豊川市さんは前年度比13%の減、あるいは豊橋市は7.5%の減、蒲郡市も9.5%の減。と申しますのは、大変、国・県、財源が厳しい状況のほか、昨年は特に減税補てん債の借りかえ措置が行われましたので、どこも予算額自体が膨らんでしまったということが大きな理由として挙げられると思っております。そんな様子。

渥美町さんのほうにつきましても、予算総額につきましては162億6,200万円。これは、トータルでは2%増加しております。一般会計が、そこでございますように76億800万円、2.2%の減ということで、要因といたしましては、全国的に昨年度、特別な状況があったということをお認識していただけたらと思っております。それと財政状況が厳しくなっているということでもあります。

会計別予算を合計いたしますと、資料4のそこに、田原市、渥美町の合計ということで掲げさせていただきます。一般会計で327億1,800万円となります。

この規模を近隣の5市と見てみますと、蒲郡市、新城市さんをオーバーして豊川市に近いような一般会計の予算規模ということになるかと思っております。

それから、それぞれ歳入歳出で特徴的なこの田原・渥美について申し上げますが、5市の表の下の欄に、他市との比較をする場合、一般会計よりも普通会計というような形、これは全国規模でそんな目ざろいがされているわけですが、普通会計に戻したのがその表であります。ちょっと田原市の例でいきますと、ここに専門学校の会計だとか、そういった、本来は一般会計でやってもいいような会計が普通会計として合算されるというふうに理解していただけたらと思っております。

渥美町さんの場合は一般会計と同額ということでもあります。

そこで比較してみますと、会計予算も若干変わってまいりますが、収入の税収を見てみますと、田原市、渥美町で合算いたしますと、約147億円の税収となります。これも横を見ていただいて、大体50%弱の税収割合になるかと思っております。

最も特徴的だと思われるのが、その下の義務的経費、あるいは、これは歳出のほ

うになりますが、普通建設事業費の計上額になろうかと思えます。義務的経費につきましては、予算に占める割合をそれぞれ見ていきますと、この義務的経費というのは、人件費と、借金の返済であります公債費と扶助費、制度上決まった経費で優先的に公共団体が払っていかねばならない経費であります。その占める割合が、田原市の場合が76億8,300万円でございます。普通会計257億の予算のうち大体3割くらいであります。30.4%の義務的経費。県下の都市の平均が41.9%でありますので、義務的な経費に回っている額は平均より下回っていると。

一方、渥美町さんのほうが、この36億6,700万円の義務的経費の額は、総予算に占める割合が大体48%くらいになっているかと思えます。41.9%の平均よりこちらへ経費が平均的には回っていて、やや硬直化が見られるのであろうかなというふうに感じられます。

一方、義務的経費が少なくなりますと、それだけ公共投資にお金が回るわけでございますので、普通建設事業費の額がその下に掲げてございます。田原・渥美で合計いたしますと107億8,400万円の建設事業費が計上されております。近隣の市を見ていきますと、かなり特徴的なことがわかってまいります。豊川市、蒲郡市で大体40億円ぐらいの公共投資が今年の予算、それに対して田原市、渥美町では100億を超えているということでございます。

ちなみに、県内の市町村の17年度の予算総額に対する、いわゆるこの公共投資の額の比率の高い順に申し上げますと、やはり県内では田原市がトップであります。94億7,400万円は、予算に占める割合が大体36.8%を占めております。これが比率的にはトップになっております。

それから、2番目が豊田市であります。豊田市が大体29%。3番目が刈谷市。これも29%ぐらい。そんな順になっております。

以上が、予算の規模から見たこの地域、あるいは性質的な経費から見たこの地域の特徴であろうかと思えます。

それでは、続いて資料2と3で、田原市の予算概要では7ページから、渥美町の予算の発表資料では、3ページ、4ページに主な主要施策が掲げてございますので、この中から特に特徴的なもの紹介して両市町の予算の説明とさせていただきたいなと思えます。

まず、7ページに田原市予算の重点施策として表が挙がっておりますが、この7本の柱は、ご存知のとおり新市の建設計画で掲げた7つの柱でございます。

「地域の個性を活かした基盤整備の推進」から始まりまして、「広域連携による地域整備の推進」までの7件につきましては、建設計画でもこうした分類をして、それぞれ主要施策として挙げているかと思えます。

順番に主なものを申し上げます。

田原市の8ページをお願いいたします。

「基盤整備の推進」の中では、2番目に都市公園整備が挙がっております。この中で、田原市では中央公園の整備は、いよいよ施設整備が本格的に始まってまいるかと思えます。テニスコート8面の整備をスタートとして運動公園の施設整備が始まっていくということ。

それから、次の白谷の海浜公園でございますが、この中にございます管理棟が完成しますと、大体施設関係は終わってまいります。あとは公社からの土地の買い戻しになってくると思えます。そういったものがあります。

続いて、9ページのほうをお願いします。

赤羽根海岸整備というのが挙がっているかと思えます。トータル2億7,800万円強になっているわけでございますが、この主なものは、弥八島地区の用地取得費が

主な経費でございます。その事業内容の2番にあります用地取得2億6,000万円ですが、公社で先行取得しております赤羽根海岸弥八島地区約5万3,000平方メートルですが、その買い戻しの費用が挙がっております。

それから、10ページをご覧いただきたいと思います。

10ページの真ん中、庁舎の増改築が計上されております。17年度は、そこがございますように6億7,500万円、17・18年度の継続事業ということで、新年度に入りましたら早々に実施設計を発注いたしまして、秋ごろには工事が発注できたらというスケジュールで進んでいくであろうと思います。

それから、続きまして2番目の柱となっております「安全で安心できる生活環境・地域福祉の推進」に関する事業の主なもの申し上げますと、10ページから11ページにかけて防災対策が挙がっております。消防防災施設整備、あるいは防災情報通信整備の関係、耐震化の推進ということでございますが、11ページの一番上の消防防災施設整備の関係では庁舎とセットでございますが、にございますように、防災センターとしての機能の充実を図っていくということで、防災センターの設計委託。これは市庁舎とセットでいくということであります。

それから、 をご覧いただきますと、校区防災備蓄倉庫建設というのが挙がっております。これは、赤羽根地区小学校区3校に防災倉庫を建設してまいるということで、これも合併関連で出てきた事業というふうに理解していただければいいかと思っております。

それから、その次の通信設備の関係は、これは渥美町さんとの合併に伴う防災行政無線のシステムの統一経費がほとんどでございます。

3番目、「耐震化の推進」につきましましては、次のページの上の段に主な事業を挙げております。一般住宅への耐震改修補助を初め集会場の改修補助、あるいは新規事業として、にございますように、ひとり暮らしの高齢者への家具転倒防止の器具の取り付けなどが新規事業として挙がっております。

これは、渥美町さんの事業でございますが、「安全で安心できる生活環境・地域福祉の推進」、この2番目の柱に該当するような事業が渥美町さんにも組まれております。

渥美町さんの事業の3ページをご覧いただきたいと思います。

民生費の一番下のほうに 印で挙がっているかと思っております。これは福祉関係で、西部保育園の実施設計費1,000万円強が挙がっております。これは、合併協議でも説明してまいりましたが、伊良湖、堀切、小塩津、和地地区の4つの保育園を将来統合して西部保育園を新設していくということでございます。場所は、総合運動場の入り口付近に確保し、18・19年度で建設予定というふうに聞いております。

それから、その下にございます小中山保育園駐車場整備工事6,000万というのがございます。これは、小中山保育園の駐車場につきまして、第1次の避難所を兼ねた駐車場の整備工事、立体駐車場と聞いておりますが、そんな避難所を兼ねた整備費が計上されているということでございます。

また、安心安全のことを掲げました4ページをご覧いただきたいと思います。

これも新規事業でございますが、4ページの上から2番目、商工費の の中にございます日出の駐車場復旧工事というのが、3,150万円ほど計上されております。これは昨年の夏、台風等の影響で自転車道とともに、あるいは花壇とともに、海岸が侵食され損壊を受けているかと思っております。その復旧工事費が載ってまいっております。

以上を2番目の項目として挙げさせていただきました。

それから、田原市のほうへ戻りまして、12ページに下水道整備というのが挙がっ

ているかと思いますが、これは両方、田原市も渥美町も重点施策でございまして、それぞれ18億。農業集落排水事業を含めまして、事業費、田原も渥美町も18億円ほど計上し、積極的な投資が行われてまいるかと思いますが。

次へいきたいと思います。16ページをお願いいたします。

16ページの3番目の柱といたしましては、環境問題への対応と申しますか、「地域環境の保全と資源循環型の推進」ということで、この柱に沿った各事業が挙がっております。

田原市につきましては、環境保全推進を始めとして、その次でございます、いよいよこの4月から新リサイクルセンターの運転が始まります。それに関しましては、ご案内のとおりPFI事業といたしまして、平成17年度から15年間で処理委託料、年間6億3,800万円ほどですが、そこにありますように処理委託料の形で払ってまいります。そうしますと、合計約103億円になるかと思いますが。15年後のそのときの簿価で買い取るようにというPFI方式で、いよいよリサイクルセンターの運営が始まってまいるということでございます。

これは、そこにございますように、田原と渥美町さんの共同事業でありまして、これも一緒になるということでもあります。

それから、17ページの環境共生まちづくり。これは、本田原市の個性ある重点施策であろうかと思いますが。エコ関連事業として、太陽だとか風、恵まれております自然からのエネルギーを使って太陽光発電の設置あるいは一般への設置補助、また、風を使った、ご案内のとおり、今年から臨海へ2,000キロワット級の風力発電機器、12基の稼働が始まっております。そういった事業も始まっておりますが、そこに掲げた事業の一番下でございますように、風力発電事業出資金というのがあります。それと別に、今回また1基、第三セクターで1基設置して事業化を図っていかうとするものでございます。

それから、環境保全の関係でございますが、渥美町さんの事業を紹介させていただきますと、3ページの衛生費の にございますように、焼却処分場の解体撤去工事が計上されております。これは、17年度途中から新市へ引き継がれてまいるかと思いますが。焼却処分場の解体。これはストックヤードとして整備がなされてくるものと思います。

それから、その下の 印については、PFI事業として新リサイクルセンターの運転経費、渥美町さんの負担分が2億2,800万円、田原市を含めて6億4,000万円ぐらいで15年間処分をしていくということになります。

その次でございます。田原市の20ページをお願いいたします。

「市民参加・協働型自治の推進」という柱の事業でございますが、市民館の整備が挙がってまいっております。20ページの一番下でございます。赤羽根地区3市民館のそれぞれの建設費が計上されております。合計約10億でございます。それに田原市の六連市民館の拠点公園の整備費もセットでございます。

それから、21ページに5番目の柱が掲げてございますが、教育関係を特に申し上げておきますと、田原市の場合、17年度は校舎の改築が、田原中部小学校の校舎が改築されます。それから、その下にございますように、東部中学校と野田中学校の屋内運動場、これも改築となります。それから、その次のページ、赤羽根中学校の校舎でございますが、これは、18・19年度で改築の予定でございますので、来年度は、その実施設計が行われます。

また、渥美町さんのほうの教育関係が施設環境でございますが、4ページの教育費にあるかと思いますが、校舎の耐震補強工事として、福江小学校の校舎、和地小学校の屋内運動場、泉中学校の校舎、以上3件を予定しております。

教育施設関係の整備は、17年度は以上でございます。

それから、田原市の23ページにあります「産業活力の創出」関係。この中で特に特色ある事業といたしましては、ご案内のとおり、企業誘致の関係で企業立地奨励金制度が継続して措置されました。これは、臨海など、そこに掲げてございます企業用地を新規に取得あるいは拡張された企業さんに、固定資産税相当額を3年間、奨励金として交付する事業でございます。

それから、農業関係の基盤整備だとか、次のページにもあります経営構造対策。これは、JAさんがハウスを建設してリースされる事業に対する補助金、国・県の補助金のトンネルになるかと思いますが、こういった事業に対する制度、経営構造対策等も計上されております。

「産業創出」関係の事業として大きなものは以上です。

渥美町さんの事業をご紹介しますと、農林水産業費の中に挙がっておりますが、大きなものとしていたしましては、湛水防除事業で排水機場の設備改修費がかなり挙がっております。今回、目途をつけていきたいというように聞いております。湛水防除事業として、トータル1億ぐらい。

それから、これは漁港関連でございまして、次のページにございますが、宇津江漁港の海岸環境整備事業。この場所は、江比間野外活動センターから下りた海岸のあたりでございますが、現在、整備が継続で進んでおります。漁港の背後地の整備ということで、取りつけ護岸だとか遊歩道の整備が進んでいくかと思っております。そんな事業が進んでいるということでございます。

それから、最後になりますが、広域連携関係。これは、ご案内のとおり「愛・地球博」が3月25日から始まっております。いろいろな形で田原市も渥美町も参画してまいります。例えば、今、田原市の日が6月6日であります。それから、渥美町の日が5月27日であります。それぞれこちらの会場でイベント等を企画され、多くの方に、田原市、渥美町を知っていただきたいなと思っております。

そのほか、フレンドシップ国とのナショナルデーといたしまして、田原市のフレンドシップ国でありますリビアのナショナルデーが4月7日、ラオスが6月13日、それから、渥美町のフレンドシップ国、ドニミカのナショナルデーが5月25日と決まっております。それぞれ交流を進め、広域連携をして、田原市、渥美町、それぞれの情報発信を行いまして、観光や産業の活性化に努めてまいれたらと思っております。

以上が、両市町の主要施策であります。このほか合併に関連いたしまして、その準備費も計上させていただきました。特に、当初予算でない間に合わない電算の統一経費だとか、一部紹介しました防災行政無線の経費だとか、あるいは合併記念式典に向けての経費だとか、4月から取り組んでいくべきものは計上させていただきましたが、今後も事務事業調整が進んでまいりますと、補正予算でそれぞれ対応してまいりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

以上、大変簡単ではございましたが、田原市と渥美町の予算概要の説明とさせていただきます。

議長

ただいま参考に新年度の予算の状況の説明がございました。これがまた10月になりますと、これをそのまま合わせていくこととなりますので、今年度、こういう形でスタートするというところでございますが、せっかくの機会ですので、何か今の予算でご質問があったら、どうぞお出しくださいませ。

はい、どうぞ。

伊与田委員	<p>4の資料で、今後非常に役立つと思いますので、この新城市の予算の中に、同じように合併される鳳来町と作手村の予算も加えていただくと非常にありがたいかと、こう思うのですが。後のときで結構です。次のときに。</p>
議長	<p>はい。</p>
事務局長	<p>そう思いましたが、今日はちょっと間に合わなかったものですから、次回、できましたらそういったものを準備してまいりたいと思いますので、すみません。</p>
議長	<p>ほかに何かありますでしょうか。      それでは、特にほかにはないようでございます。      この予算は、昨年、今年と、やっぱり合併の途中経過でございますので、一時的に公共投資は膨らんでおりますが、落ち着けば、とてもこれだけの額はなくて、もっと減っていくと思いますので、この辺はお含みをいただきたいと思います。      それから、この合併に伴いますいろいろな諸事業も、これも正直、国の財政状況によりますので、もう、去年と比べると、今年はどう感じともう厳しくなっているような気がしますので、本当に予定どおりこれがいけるのかどうなのかということも気をつかいながらやってきますので、渥美町の皆さんも、心配しなくても、長い年月をかけてできるだけ同一政策はとっていきますので。ただ、テンポがちよっとかかるのかなという気がいたしております。      そうしたことで、これからも予算についてはご協力をいただきたいと思います。      それでは、予算のほうは以上です。      事務局、ほかに何かありますか。      せっかくお集まり賜りましたので、それでは事務局のほうは以上でございますが、何か委員の皆さんからこの機会にございましたらどうぞご発言をいただきたいと思います。      河合先生、夏目さん、顧問の先生方、何か今、3月31日で全国的にも合併がちょっと一段落するわけですが、3,000幾つかありましたのが1,800ぐらいと新聞にも出ておりますと、何かこの辺で感想でもありましたらお教えいただければと。急に言って申しわけありません。</p>
河合顧問	<p>田原市のこれは、合併元年の前夜みたいな雰囲気の中でございまして、10月1日、これが一般の合併元年になるわけです。ですから、予算的にもなかなか、組み方で例外的なことが出てきたりするのではないかと思いますので、皆さん、ひとつ心して、夜明け前の時期だという認識を明確にしてお進めいただいたらどうかと思っております。スタートを切るときは、これは1月1日と一緒に、合併元年、元旦ということになるのではないかなと、こう思っているわけでございます。一度ごたごたはしましたけれども、あとは非常にスムーズに、皆さんが目標、心をついて行動をとるとした結果でございまして、大変模範的な作業であったかなと、こんなふうに思うわけでございます。      細かいいろいろな調整の問題は、これからが大変だろうと思うわけですが、これは皆さんが総枠で合併の枠組みをいただいたわけですから、これから中身を充実していくということに努力すれば、難問にぶつかってどうしようもないというのは天災しかないので、人災で知恵を出し合えば、確実に何かステップを踏んでいけると思っております。些細な力だったけれども、皆さんのご意見を伺っただけで終わったような感じがいたしますけれども、そんなことを今感じている</p>

	<p>わけでございます。</p>
<p>議長</p>	<p>どうもありがとうございました。 それから、夏目事務所長さん、ご案内のとおり4月1日付で異動になられますので、その意味も込めて何か一言ご感想とごあいさつをいただければ。</p>
<p>夏目顧問</p>	<p>発言の機会を与您いただきまして、大変ありがとうございます。 まず、この地域の合併でございますが、調印式に知事がまいりまして、あいさつの中でも触れられましたとおり、今、河合先生からもお話がありましたとおり、前の失敗から時間がそうたっていないということで、この渥美半島が一つになるということは、短い時間では難しいのではないかとというふうに、誰しもが思ったと思うのでございますが、両首長さん、それから住民の皆様方の渥美半島は一つという思いが大変強かったということで、この短い時間ではありましたが、協議が整いまして一つになれるということは、大変喜ばしいことだというふうに思っております。 しかし、あと6か月という残された時間があるわけでございますが、その間にまだまだ調整をしていただくことはたくさんあるかというふうに思っております。しかし、この調印以後でもスムーズに協議が進んでいるというふうに伺っておりますので、安心して10月1日が迎えられるというふうに思っております。私、東三河の中と北設のほうでも合併をいろいろやってきたわけでございますが、合併に至らなかったところというのもあります。そういったことを思いますと、ぜひこの渥美半島が合併してよかったということを、愛知県と言わず全国に発信をしていただけたらうれしいというふうに思っております。 最後に、私、合併協議会の顧問ということで就任をさせていただきましたわけでございますが、たいした働きもせず、誠に申しわけございませんでした。今度の県の人事異動でもちまして、4月1日から病院事業庁ということで、愛知県がんセンターだとか、愛知病院だとか、こういったところの管理をする部署に異動となりました。皆さん、あんまりお世話にならないほうがいいとは思いますが、がんセンターだとか、そういったところへというときには、ぜひ一声お声をかけていただきますとお手伝いができるかなというふうには思いますが、あまり利用はなさらないようにしていただきたいというふうに思います。赤字ですので、何とかご利用を図っていただきたいという話でございますが、そういったことで、4月1日から新しい職場へまいります。協議会の顧問の期間中、大変お世話になりました。大変ありがとうございました。どうもありがとうございました。</p>
<p>議長</p>	<p>どうもありがとうございました。本当に、こちらがお礼を申し上げます。どうも大変ありがとうございました。 ひとつまた新しい職場でしっかり頑張っていたいただきたいと思います。 では、委員の皆様方、ほかに何かございませんか。せっかくの機会ですので。 あと、先ほど申し上げましたように、新年度になって決算でお集まりいただくこと、それから、協議経過の中で、もし、ご報告するようなことが起きましたらその模様、それから、細かい調整を今ずっと事務屋さんたちが、助役さん以下、両方で合わせて進めておりますので、もし、何かありましたら、その中でまたご報告をいただくということ。それからあと、これはまた私と原さんともどもご相談していきますが、これは合併に当たって、やっぱり皆さんもどうなるのか心配していると思います。この不安は、数えればきりがありませんが、合併後は何らかの形でいろいろ皆さんにもごあいさつする機会があるのかなと思っておりますが、もちろん</p>

10月1日の合併祝賀式には、この合併をやった意義とか、これから皆さんとこんな目標を持っていきたいとか、こんなようなお話は当然そこですわけですが、その前にそれがわからないものですから、特に渥美町の皆さんは不安を持っておられるかもしれないとか、あるいは両市町の職員もまだまだ不安もあるのかなとも思っております。何かの折に一遍説明会を合併前にやったほうがいいのかどうかというのは、ちょっと一遍よく相談をさせてもらって、合併後のほうが、私は、あんきに話ができるので、あんまり前にしゃしゃり出ていくと、豊川の市長さんは一宮でわあわあ言ったけれども、どうも合併してからのほうがいいのかなど思っていると、逆に皆さんへ情報の伝達が遅くなるのかなと。こんなことをちょっと心配しながらいかせてもらいたいと思いますので、またご意見があったらお教えいただきたいと思います。

それでは、そういう気持ちでありますので、今後もこの合併がスムーズに進みますように、皆様方のご協力をお願い申し上げます、今日はこれで閉じたいと思います。

どうも大変ご多用のところをありがとうございました。これでもって閉じます。

午後2時25分 閉会